

◆テーマ／『エネルギーの情報化とスマートグリッド』

【コンセプト】:「エネルギーの情報化」は生活環境における多様なエネルギー(電気、熱、風など)の流れや変化を可視化するというコンセプトのもと、本講演では、従来の個別省エネ技術では実現が難しかった超省エネ生活環境、コミュニティの実現を目指した基本的な考え方を紹介。

日時 平成21年10月16日(金) 10:30~12:00

場所 マリンメッセ福岡セミナー会場B

《プログラム》

10:30-10:35 ご挨拶(九州経済連合会情報通信委員長)

10:35-11:20 基調講演 『エネルギーの情報化とスマートグリッド』

■講演者 京都大学大学院情報学研究科 教授 松山 隆司 氏

11:20-12:00 座談会 『(仮)エネルギーの情報化は何をもたらすのか』

■コメンテーター

・京都大学大学院情報学研究科 教授 松山 隆司 氏

・(社)九州経済連合会 情報通信委員会企画部会長 山崎 正幸 氏

〔九州電力株式会社 執行役員電子通信部長〕

・九州地域組込みシステム協議会幹事 芦原 秀一 氏

〔ネットワーク応用技術研究所 取締役R&D部長〕

・パナソニックコミュニケーションズ(株) (出演者未定)

【主催】 (社)九州経済連合会、総務省九州総合通信局

【後援】 九州情報通信連携推進協議会(KIAI)

【協賛】 九州地域組込みシステム協議会(ES-kyushu)

講演者プロフィール



松山 隆司
(まつやま たかし)

【略 歴】

1976年京大大学院修士課程修了。京大助手、東北大助教授、岡山大学教授を経て、1995年より京大大学院電子通信工学専攻教授。現在同大学院情報学研究科知能情報学専攻教授。2002年学術情報メディアセンター長、京都大学評議員、2005年情報環境機構長。2008年副理事。工博。画像理解、分散協調視覚、3次元ビデオの研究に従事。最近は「人間と共生する情報システム」、「エネルギーの情報化」の実現に興味を持っている。

【表彰関連】

1980年 情報処理学会創立20周年記念論文賞
1990年 人工知能学会論文賞、1993年情報処理学会論文賞
1994年 電子情報通信学会論文賞
1995年 第5回国際コンピュータビジョン会議 Marr Prize
1999年 電子情報通信学会論文賞
2000年 画像センシングシンポジウム優秀論文賞。
2004年 2005年FIT優秀論文賞
2009年 文部科学大臣表彰。国際パターン認識連合、情報処理学会、電子情報通信学会フェロー。日本学術会議連携会員

電力分野

・スマートメータリング

・電力と情報通信技術の連系

・電力における電力需給の現状

・スマートグリッドに関する研究動向

・日本の電力業界におけるスマートグリッド

『エネルギーの情報化とスマートグリッド』

・省エネルギー化のための組み込みシステム

・オンデマンド型電力NWプロトコル
および制御装置の実装

・家電機器へのモジュール組み込み
(通信機能、センサー)

組み込み分野

・エネルギー最適化技術

・エネルギーカラーリング

・エネルギーオンデマンド
EoD (Energy on demand)

・エネルギーマネジメントプロトコル

・電力需給の最適化のための技術開発

・スマートグリッドの実現方法とその課題

・HD-PLCの標準化動向

・家庭内における情報化

・電力の見える化

研究分野

通信技術